

当科において
『筋電図を用いた舌挙上力の評価方法を確立するための探索研究』および
『頸部表面筋電図を使用した咀嚼時と嚥下時の舌後方部筋活動の評価』、
『頸部表面筋電図測定による舌筋の筋疲労評価についての探索的研究』
にご参加いただいた方へ

—「頸部表面筋電図測定による群化放電波形の出現に関する後ろ向き観察研究」

へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究機関長 研究科長 大塚 愛二

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 咬合・有床義歯補綴学分野
教授 皆木 省吾

研究分担者 岡山大学 咬合・義歯補綴科
講師 兒玉 直紀

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 咬合・有床義歯補綴学分野
助教 萬田 陽介

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 咬合・有床義歯補綴学分野
医員(大学院生) 古寺 寛志

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

睡眠時無呼吸症候群とは睡眠中に気道が狭くなり、閉じてしまうことで呼吸が停止してしまう疾患です。これまでに睡眠中の歯ぎしりとの関連性について調べられてきましたが、十分なデータは得られていません。また、日常生活の中での歯ぎしりや食いしばりとの関連性については全く調べられていません。最近の研究では、舌根沈下により気道が閉塞されるため、舌筋との関連が検討されています。この研究では、舌筋と筋疲労との関連性について調べることで、睡眠時無呼吸症候群の発生メカニズムを解明することを大きな目的としています。

本研究では舌筋と筋疲労の関連性を評価するため、頸部表面筋電図測定結果から得られる群化放電波形という特殊な波形の定量的抽出を行います。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

睡眠時無呼吸症候群の治療には持続気道陽圧（CPAP）やマウスピースが用いられています。しかし、CPAPは苦しくなる、使いにくいなどの理由から中止する 경우가多く、マウスピースでは長期間の使用によって下顎の位置が変わってしまうという問題があります。これまでの研究で日常生活の歯ぎしりや食いしばりを少なくすることで睡眠中の歯ぎしりや食いしばりが少なくなる可能性がわかってきました。もし日常生活の歯ぎしりと舌筋の筋疲労との間に関連性があれば、舌筋をトレーニングすることで日常生活の歯ぎしりや食いしばりを少なくし、睡眠時無呼吸を改善させることができるかもしれません。この方法の効果が確認できれば、睡眠時無呼吸症候群の治療を容易に行うことができるようになるという意義があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

当科において『筋電図を用いた舌挙上力の評価方法を確立するための探索研究』および『頸部表面筋電図を使用した咀嚼時と嚥下時の舌後方部筋活動の評価』、『頸部表面筋電図測定による舌筋の筋疲労評価についての探索的研究』にご参加いただいた方40名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2022年3月31日

3) 研究方法

当科において『頸部表面筋電図測定による舌筋の筋疲労評価についての介入研究』および『頸部表面筋電図を使用した咀嚼時と嚥下時の舌後方部筋活動の評価』、『頸部表面筋電図測定による舌筋の筋疲労評価についての探索的研究』にご参加いただいた方の研究データをもとに、筋電図に現れる群化放電波形という特殊な波形を数多く抽出し、この波形を定量的に抽出するための解析方法を検討します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、コンピューターから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・頸部表面筋電図から得られたデータ

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院咬合・義歯補綴科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

作成日 2020年8月6日

第1版作成

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年9月30日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 咬合・有床義歯補綴学分野
氏名：古寺 寛志
電話：086-235-6687（平日：9時00分～17時30分）
ファックス：086-235-6689